

### 第 19 回日本遺伝子治療学会において「アンジェス賞」を授与

当社は、平成 25 年 7 月 4 日（木）から 6 日（土）に岡山県岡山市で開催された第 19 回日本遺伝子治療学会（会長：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科 藤原 俊義教授）において、遺伝子治療研究の発展に大きな貢献をされた 3 名の研究者に「アンジェス賞」及び「アンジェストラベルグラント賞」を授与致しました。

「アンジェス賞」は遺伝子医薬の創薬バイオベンチャーである当社が、遺伝子治療全体の発展を目的として平成 22 年に創設したものです。これまでも日本遺伝子治療学会にて遺伝子治療研究の発展に貢献した研究者に「アンジェス賞」を提供して参りました。今回の学会では以下 3 名の研究者が受賞されました。

#### 1. アンジェス賞（2 名）

岡山大学大学院医歯薬学総合診療科 泌尿器病態学 佐々木 克己先生

テーマ 「A phase I/II study of reduced expression in immortalized cells (REIC/DKK-3) gene therapy for prostate cancer; a summary of neoadjuvant group」  
(前立腺がんに対する Ad/REIC-Dkk-3 を用いた臨床第 I/II 相試験)

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野 田上 聖徳先生

テーマ 「Survivin-responsive conditionally replicating adenovirus efficiently kills rhabdomyosarcoma-initiating cells: a promising m-CRA strategy for treating cancer stem cells」  
(Survivin 応答制限増殖型アデノウイルスを用いた癌幹細胞治療の研究)

#### 2. アンジェストラベルグラント賞（1 名）

Kolon Life Science Inc.（韓国）Jung Jong Cho 先生

テーマ 「A phase IIb clinical study of tissue gene-C (TG-C) in patients with osteoarthritis」  
(骨関節炎に対する TG-C 遺伝子による臨床第 IIb 相試験)

これらの業績は遺伝子治療をさらに発展させる価値ある研究成果であり、受賞された先生方の日頃のご尽力に厚く敬意を表するとともに、当社としても、金田 安史 遺伝子治療

学会理事長が宣言されている「基礎研究推進の理念の基に臨床応用を実現させる」という学会の基本方針に寄与し、遺伝子治療の発展に努めて参ります。

以上

お問い合わせ先

アンジェス MG株式会社 経営企画部 広報グループ

TEL: 03-5730-2641